

桜樹公民館だより

令和6年2月号 No.519

〒791-0541 西条市丹原町鞍瀬甲344番地
TEL & FAX : (0898)73-2505
E-mail : sakuragi-k@saijo-city.jp

カラー版は西条市役所ホームページで ページID:0102255

桜樹地区の人口 (前月比)

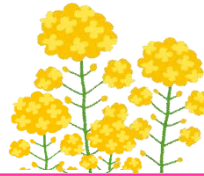
男 121人 (-1)

女 107人 (±0)

合計 228人 (-1)

世帯数 148世帯 (±0)

令和5年12月末日現在



余寒お見舞い申し上げます

令和6年が明けたその日の夕方、能登半島地震が起きました。2週間あまり経過しても(1月16日現在)未だに被害の全容は計り知れないようです。テレビで映像を見るたびに胸を痛めて何とかしたいと思っ
ていらっしゃる人も多いことでしょう。つい昨年12月の防災訓練に参加いただいた皆さんにとってはな
おさらでしょう。寒さも厳しい時期、阪神淡路大震災から29年、南海トラフ巨大地震の可能性も予想され、
他人事ではいられません。ただ、気をつけないと、繰り返し地震の映像を見ることで不安がつのって心身
に影響を受けてしまう人(子どもによく見られるそう)もいるそうです。悲観的にならないよう、でも
被災地のことを忘れないように、私たちは日常生活を大事にしましょう。そして、ほんの少しでも支援が
できればいいですね。日ごろの備えも忘れずに。

1月15日朝 ジャンボ門松 をしまいました



雨
上
が
り
の
作
業
と
な
り
ま
し
た
が
、
ご
協
力
あ
り
が
と
う
ご
ざ
い
ま
し
た
が



笑う門には福来る

飾りを取り外し、突き固めた土のうをある程度取り出し、竹の袴(はかま)を半分外してから大竹を倒します。

1月15日午後 お焚き上げ (磐根神社)

《余談》1月15日長面の橋でアマゴの放流をされていました。2月1日解禁なのだそうです。



午
後
、
再
び
降
り
始
め
た
雨
も
止
み
、
日
も
差
し
て
来
た
よ
か
な
一
年
で
あ
り
ま
す
よ
う
に
。

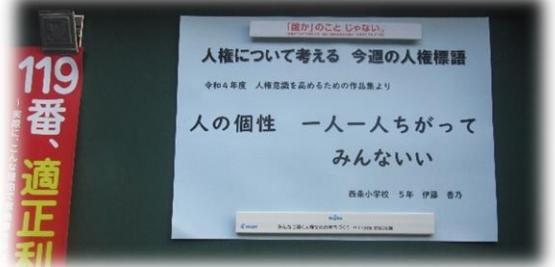
しいたけ栽培講習会 開催見送りのお知らせ

恒例の『しいたけ栽培講習会』ですが、
諸事情により今年度は開催いたしません。
楽しみにして下さっていた皆さんには、
本当に申し訳ございません。
何とぞご理解ご了承のほどを
よろしくお願いいたします。

桜樹公民館

(季節性)インフルエンザも流行中 気をつけましょう！

- ◆**手洗い** 帰宅時や食事前などこまめに石けんでしっかり手を洗いましょう。アルコールによる手指消毒*も効果があります。
(*咽頭結膜熱にはアルコール消毒が効かないそうです)
- ◆**健康管理** 十分な睡眠とバランスのよい食事を。
- ◆**マスク** 咳エチケットや流行時、人混みへの外出時は着用。
- ◆**換気** 換気設備での常時換気か、対角線上の窓やドア2カ所を開放。難しい場合は30分に1回程度定期的に窓を全開にして換気しましょう。
- ◆**適度な湿度** こまめに水分補給もしましょう。 西条市 ホームページ参照



昨年12月から公民館前掲示板に『今週の人権標語』を掲示しています。

第42回全国中学生人権作文コンテスト」愛媛県大会

【優秀賞】愛媛県教育委員会教育長賞

～毎月10日は人権を考える日～

2024年1月10日

「一步踏み出すために」

西条市立西条北中学校 2年 大村和希羽

中学校に入学して一年半が経った。しんどいこともあるけれど、楽しい学校生活を送っている。友達もできて、部活にも一生懸命に取り組めるようになったからだ。

だが、学校生活の中で苦しくなることが全くないわけではない。休み時間などにたまに聞こえてくる会話に気分が落ちこんでしまうときもある。言っている人は深く考えずに言っているのかもしれないけれど、「学校に来ていないやつを見るといらつく。学校に来れなくなるとかメンタル弱すぎやろ。」私はこの言葉を聞いてどきどきして、体がこわばってしまった。怖くなったからだ。

私は小学校のとき、学校に行けなかった時期があった。四年生のときのことで、五年生からは保健室登校、六年生のときもほとんど別室で過ごした。だから、私に向けられた言葉ではないと分かっているけど、そのときのことを思い出して怖くなってしまったのだ。私はみんなにとっていらつく存在だったのだろうか。確かにメンタルが弱いと言われればそうだったかもしれない。当時疲れきって家から出ることもできない状態だったからだ。でも、それまでのことを考えるとメンタルが弱いからという一言で片付けられるとすごく嫌な気持ちになる。学校に行かないと決めるまでにどれだけ悩んだか、どれだけ苦しんだか他人には分からないと思う。だから、「いらつく」「メンタルが弱い」という言葉は私の心を突き刺すくらい辛い物なのだ。それに、もし学校に来ていない本人がこの言葉を聞いたらどんな気持ちになるのだろうか、考えただけでぞっとしてしまう。私なら二度とそんな学校に行くもんかと思うだろう。こんなことを言うのは本当にやめてほしいと思う。

しかし、私は思うだけで、何も言えない。そして、そんな自分にいらいらして、たまらなく嫌になる。じゃあそんなこと言わないでと伝えればいいのと思われるかも知れないけど、言うことはできない。それは、四年生のあのときに戻ってしまうかもしれないからだ。私が学校に行けなくなったのは、人に注意をしたことがきっかけだった。私の意見はあっさり否定された。そして、周りの人はその意見に同調して一緒になって私に言い返してくる人もいた。また、その意見に同調しているわけではないけど、何も言わず知らん顔をしている人もいた。もしかしたら、私の意見に賛成してくれている人もいたかもしれない。でも、それを見つけられなかった。そんな日々がしばらく続いた。そして、もともと友達のいないクラスだったというのもあり、私は一人になってしまった。一人で過ごす休み時間はすごく長かった。だから、私は休み時間が一番嫌いだ。そして、一学期の終わりには私はクラスに入れなくなっていた。

私は、どうしたらよかったのだろうか。黙っていたらよかったのだろうか。なんなら一緒になってふざけるくらいのほうがよかったのだろうか。私が心を広くもって、もう少しがまんできていればこんなことにはならなかったのだろうか。私にもう少しユーモアがあっておもしろい話ができる人気者だったら、その人たちは話を聞いてくれたかもしれない。でも、現実の私はユーモアもない、人気もない、心も広くない。残念ながら話をしても受け入れてもらえない。世の中には差別をなくす立場に立つ人と差別を残す立場に立つ人の二種類の人がいるという。今の私は、完全に差別を残す立場の人間である。そう考えると悔しくてたまらなくなる。できれば差別をなくす立場に立つ人になりたい。でも、傷つきたくもない。学校に通えなくなるようなことには、もう二度となりたくない。二つの気持ちが天びんのように揺れ動いている。バランスがとれて、どちらも大切にできるようになりたい。

私がこの作文を書いたのは、自分のためである。正直言って、学校に来ていない子のことをなんとかしてあげたいと、いつも考えているわけではない。悪口を言っている人のことを大切にしたいと思ってこれを書いたわけでもない。自分の気持ちの整理をしたかったからだ。そして、分かったことは、自分のことが一番大切で、誰からも嫌われたくない、臆病者だということだ。私は八方美人の典型であろう。

理想は、学校に来れない子のために何ができるか考えたり、悪口を言う子に「言わないでほしい」ときちんと言えたりできる人になることだ。しかし、理想にはまだ遠い。

私は、この作文を書きながら小学校のときのことを思い出して、何度も泣いた。でも、泣きながら少しずつ気持ちがほぐれていくように思った。まだまだ弱くて臆病な私だけど、一つだけこれから実行しようと思うことを決めた。それは、学校に来ていない子の机の中をきれいに整頓することだ。いつ来ても気持ちよく過ごせるように。

桜樹地区 タウンミーティング 【報告】

1月14日(日) 自治会長及び各種団体代表が、市長や担当幹部と地区の課題について意見交換を行いました。

- ①公共交通体制の今後
- ②ごみ減量対策の効果
- ③高齢者の見守り体制について



令和6年度 市県民税等申告相談会

丹原地域の会場は丹原サービスセンターです。桜樹公民館では行いませんのでご注意ください。

- 申告会場 丹原サービスセンター 2階
- 受付時間 8時30分～11時30分・13時～15時30分
- 対象地区

2月16日(金) 臼坂・石経・志川・明穂

2月20日(火) 鞍瀬・明河・千原・楠窪・古田・高知

※この日程でご都合が悪い方は、
2月16日～3月4日の平日に
丹原サービスセンターをご利用ください。
(詳しくは広報2月号をご覧ください。)

【問い合わせ先】

西条市役所 市民税課 電話：0897-52-1317
西部支所 税務係 電話：0898-64-2629
(ダイヤルイン：直接係につながります)

青年山 頌徳碑 について

公民館の程近く、桜樹郵便局に隣接する場所に大きな石碑があります。

鞍瀬支部青年団によって造成された青年山造林の偉業をたたえて昭和49年に建てられました。(題字は当時の白石春樹愛媛県知事)

青年山は、大正の初期に当時の青年団が村から借り受けました。そして奉仕的に100町余を植林し、維持管理を行いました。

しかし、終戦後地域の過疎化とともに青年が激減したため、昭和40年地域に管理を委ね、昭和45年には地域の公共事業を促進するために売却されました。

その間には鞍瀬小学校や桜樹公民館の建設などに多大な貢献をしたそうです。

【参考】『丹原町誌』平成3年発行 ほか



鞍瀬支部青年団によって造成された青年山造林は遠く大正の初期に遡る当時未開発の青年山を村から借り受けることに就くは渡部角蔵佐伯銀蔵佐伯和多兵衛氏等の盡力によるところが多い之を造林として開発する様になったのは当時村医であった豊田央義氏を支部長として迎えた頃に始まり次来代々の支部長を中心とする青年達によって受継がれ今日の輝かしい成果となった青年達のこうした努力し終戦後部落の過疎化と共に青年達の数も激減するに及んで最早青年達だけで青年山を維持することが困難な状態となつて昭和四十年遂に其の運営を部落に委ねることになったが而し此の頃に青年山造林が鞍瀬小学校や桜樹公民館の建設に多大の貢献をしたことも又忘れてはならない昭和四十五年になつて部落の公共事業を促進する為に青年山を売却する問題が持ちあがり其の収益が今日道路の舗装農道の開発小学校体育館の建設や其の他諸々の部落公共事に投資されて其の昔青年達の手によって造成された青年山が今や部落民に限りなき福音を齎らしている今日この輝かしき成果を永遠に記念する為にこの頌徳碑建立となつた

昭和四十九年九月建立

鞍瀬部落

地域安全ニュース『天狗岳』令和6年冬号 公民館で配布しています。ぜひ手に取ってご覧ください。

【注意】増えています!国際電話番号・自動音声の電話「+1」や「+44」などから始まる番号(国際電話番号)などの表示の電話には出ない、かけ直さないよう、ご注意ください。など

ATMで還付金は戻りません 今日までと言われても焦らない 絶対に相手に連絡しない

*中川駐在所だより 公民館で配布しています。 夕方の散歩には反射たすきをつけましょう

～夕暮れの ライトは迷わず 早めから～ (道路を横断する時は)～大人もちょっとでも手を上げよう～

その電話、大丈夫? 教えない!…暗証番号・口座番号 渡さない!…通帳・キャッシュカード



あと1皿 野菜を食べましょう

保健センター便り
(西条市中央保健センター
0897-52-1215)

1日に必要な目標野菜摂取量は350g(小鉢5皿分)。

西条市が実施したアンケートでは、1~3皿という結果。野菜不足の方が多くいます。

プラス1皿から始めてみませんか?

《令和3年度野菜の摂取に関するアンケートより》

野菜のチカラ

- ビタミンA…皮膚や粘膜を丈夫にし、免疫力UP
- カリウム…体内の余分な塩分を排出してくれる
- 食物繊維…糖や脂肪の吸収を抑えてくれる

いろいろな調理方法でプラス1皿!

- ・煮物
- ・生のまま
- ・酢の物
- ・和え物
- ・炒め物
- ・汁物

【詳しく聞きたい方】

定例健康栄養相談をご利用ください。丹原保健センター(0898-68-7345)

詳しい日程はこちら▶



2月 行事予定・休館日

日	曜日	内容
5	月	休館日
11	日	休館日【建国記念の日】
12	月	休館日【振替休日】
19	月	休館日
23	金	休館日【天皇誕生日】
25	日	臨時休館日
26	月	休館日

市県民税等申告相談会
丹原地域の会場は
丹原サービスセンター
です。

令和6年4月1日から

地区公民館事務室の開室日及び時間が変わります

	変更前	変更後
事務室の開室時間	8:30~17:00	9:00~17:00
事務室の閉室日	月曜日、祝日、年末年始	土曜日、日曜日、祝日、年末年始
貸館が可能な時間	8:30~22:00	8:30~22:00 (年末年始を除く)

【お問合せ先】西条市教育委員会事務局

社会教育課社会教育係 TEL:0897-52-1254

詳しくは、広報2月号、公民館だより1月号をご覧ください。

資源ごみ収集日

◆古紙(第4火曜日) 2月27日

◆ガラス瓶・ペットボトル・スプレー缶など
(第3木曜日) 2月15日

資源ごみ・危険ごみの拠点回収

桜樹公民館

屋外ストックハウスは公民館東側にあります
~扉を開けて入れてください~

●対象ごみ

- ①資源ごみ(「びん」は対象外)【缶・古紙・ペットボトル】
- ②危険ごみ【水銀系ごみ】

⇒屋外ストックハウスに

- ②危険ごみ【充電電池】 ⇒館内専用コンテナに

バッテリーのはずれない小型家電(11×24cm)は、
丹原サービスセンター等の小型家電回収ボックスへ。

●回収時間(時間外施設します)

・開館日の午前9時から午後4時まで **時間厳守**

桜樹地区の「指定緊急避難場所」と「指定避難所」

- ①指定緊急避難場所⇒(旧)鞍瀬小学校、臼坂ちびっこ広場、高座集会所

*桜樹公民館は指定されていません

「指定緊急避難場所」は、災害による危険が切迫した状況において、住民が災害の危険から命を守るため緊急に避難する際の避難先です。西条市では桜樹地区の各自治会長を通じて住民に事前避難を呼びかけ、その際の避難先として中川公民館を開設しています。

- ②指定避難所⇒桜樹公民館

「指定避難所」は、台風等の災害による危険性がなくなった後も一定期間避難者が宿泊滞在することを想定していることから、桜樹地区では桜樹公民館を「指定避難所」としています。

【自宅で安全確保〜日頃の対策】 ●自宅の点検をしよう!…家の外・家の中

●自宅での避難生活の備え…自力で3日間を過ごせる準備!備蓄品を備えましょう(消費と購入を繰り返すローリングストック方式による備蓄) ●非常時の持ち物…チェックしましょう。

「防災情報さいじょう」
アプリ等も
ご参照ください。

